

## 地震・火山のリアルタイム観測をコンパクトに実現する 通信ユニット「TP-8800」発売！

～ データロガー「LS-8800」をネットワーク接続し、データ伝送と状態監視機能を提供します ～

白山工業株式会社（本社：東京都府中市、代表取締役社長：吉田稔 <http://www.hakusan.co.jp/>）は、白山工業製「LS-8800」をネットワークに接続して地震や火山活動のリアルタイム観測を実現する通信ユニット「TP-8800」を2011年11月28日に発売いたします。

「TP-8800」は、小型・軽量・低消費電力のデータ収録装置である「LS-8800」をネットワークに接続し、計測データのリアルタイム伝送や機器の状態監視機能を提供する通信ユニットです。「LS-8800」に合わせてコンパクトで軽量なため、運搬の負荷も小さく、十分なスペースのとれない観測点建屋や屋外筐体内にも設置が可能です。センサー入力からデータ伝送までのトータルの消費電力が1.5W以下と低く\*<sup>1</sup>、電源などのインフラが整わないような場所においてもソーラー電源と無線機器による観測点構築が容易です。データ伝送プロトコルには、標準的なWIN\*<sup>2</sup>のほか、通信障害による欠測データを自律協調しながら自動補完することが可能なACT\*<sup>3</sup>が選択可能です。さらにネットワーク利用の機能として、SNMPによるシステムの状態監視\*<sup>4</sup>と遠隔からの観測制御、Webブラウザ画面からシステム全体の設定や制御、ファームウェアのアップデートが可能ですので、高い信頼性と優れた運用性を兼ね備えたテレメタリングシステムを構築することができます。



TP-8800



使用イメージ

\* LS-8800 は別売品です

### 主な特長

1. 2つの伝送プロトコル（WIN / ACT）によるテレメータ機能
2. 遠隔監視を実現する SNMP に対応
3. Web ブラウザからの設定が可能
4. Web ブラウザからの簡単ファームウェアアップデート
5. 軽量・コンパクト（170 × 21.5 × 123.5mm、約 300g）

\* 1：1時間間隔でのGPS同期とした「LS-8800」と合わせた総消費電力。同等の機能を実現する白山工業製「LFシリーズ」のセットと比較して5分の1以下に抑えられています。

\* 2：東京大学地震研究所で開発された多チャンネルの地震波形を取り扱うための処理システム（WINシステム）における伝送プロトコル。

\* 3：ACTプロトコル（自律協調型データプロトコル）は、MeSO-netプロジェクトで東京大学地震研究所と共同で開発しました。データ再送はデータセンタからの受信通知を任意に設定される受信通知待機時間経過後も受け取れない場合に行い、またデータ伝送の状況（通信回線状態、データセンタ側処理状況）に応じ適切な伝送レートを自律的に選択します。

\* 4：構築するシステム内に別途監視装置が必要になります。

お問い合わせ先

白山工業株式会社

【製品に関するお問い合わせ】 防災システム事業部 吉田信（まこと）・佐藤峰司（みねもり）  
【プレスリリースに関するお問い合わせ】 事業推進部 中村・宮崎

電話 042-333-0080 / FAX 042-333-0096 / Email support@hakusan.co.jp